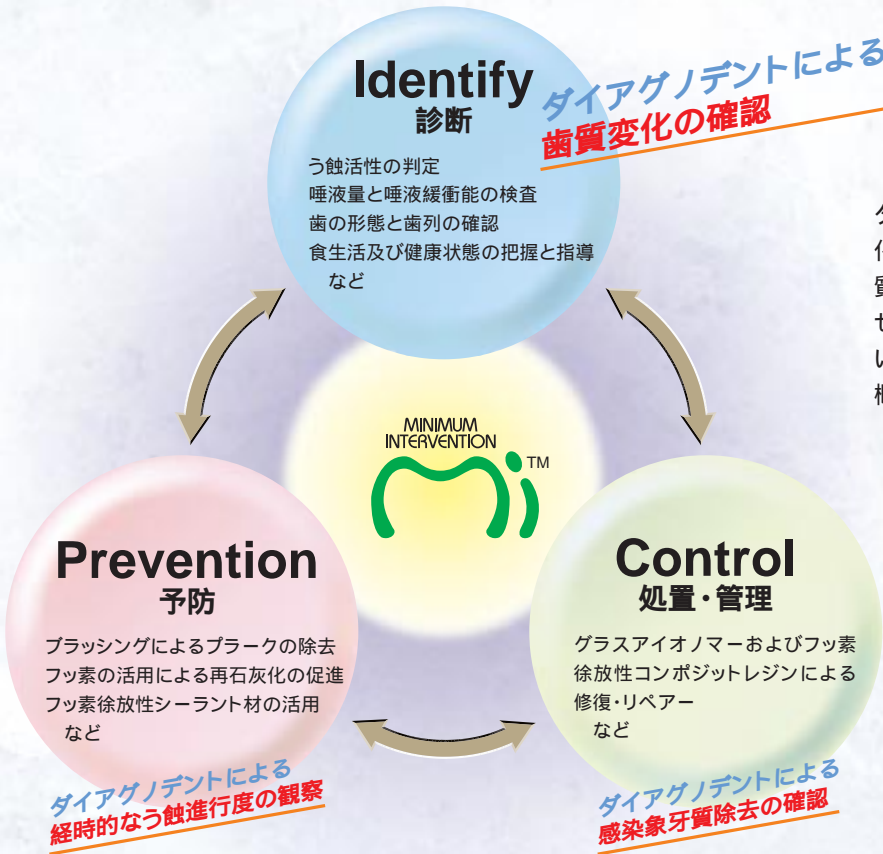


Mk (Minimum Intervention) を始める方に

歯質を痛めず、レーザーで検知!



ダイアグノデントは、レーザー光により歯質の変化を測定するため、探針による触診のように歯質を破壊し再石灰化を阻害する可能性がありません。さらに視診やX線などでは見落とされていたわずかな歯質変化も発見できるため、MIの概念に則したより正確な診断が行なえます。

KaVo DIAGNOdent ダイアグノデント

歯面状態認識装置



- 優れた精度でわずかな歯質変化を検知。
- 歯質を痛めることなく安全・無痛的な測定。
- デジタル表示で患者さんとのコミュニケーションアップ。
- う蝕経過観察や感染歯質除去、治療終了の確認にも。

KaVo DIAGNOdent

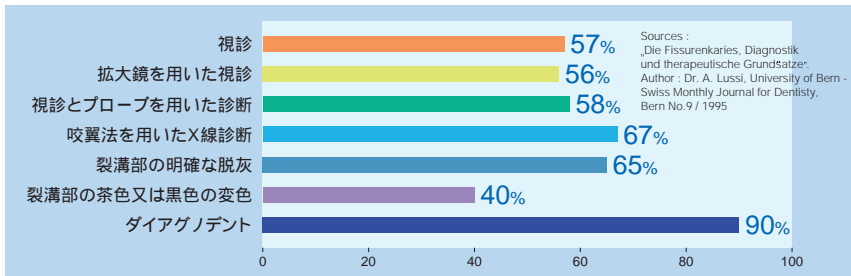
ダイアグノデントは、歯質に当てたレーザー光の反射を解析し、数値と音色に置き換えることにより、歯質の変化を高精度で解読。視診・触診やX線などによる診断よりも高い確率で歯質変化を発見します。

特に見つけるのが困難とされる臼歯部裂溝の診断に有効で、患者さんのカリエスリスクを考慮しながら予防(再石灰化など)や処置・管理(最小限の切削)を行うことができます。

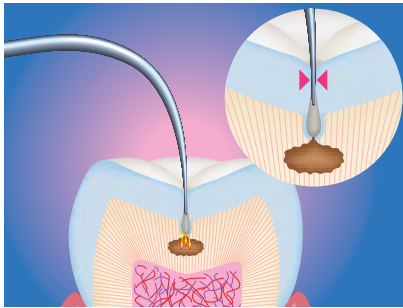


90%を超える正確な診断

裂溝カリエスで咬合面が正常な状態の症例



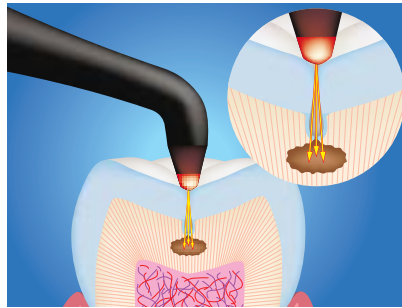
裂溝カリエスで威力を発揮!



探針による触診を行う場合、通常しずく形状の裂溝の探査は困難。また、歯面を破壊し、再石灰化を妨げる可能性が高いといわれています。



過度の探査により歯面に穴のあいてしまった症例。



レーザー光線が極小の到達経路を通じて反射するため、裂溝域でも正確な蛍光測定が可能。もちろん歯面は痛めません。



歯を痛めることなく、歯質の状態を数値化。

ダイアグノデント

歯面状態認識装置

包装 1セット:本体1台、バッテリーバック、グリップスリーブ(ホース付)1本、ライトプローブ2種(A:2本、B:1本)その他

別売 ライトプローブA
ライトプローブB

仕様 / サイズ

本体外形寸法 幅150mm×奥行110mm×高さ120mm
重量 600g
電源 / 電圧 7.5V(単3アルカリ乾電池1.5V×5本)
レーザー光出力 レーザーダイオード最大1mW以下(波長655nm)

部位に応じて選べる2種類のライトプローブ



ライトプローブA
(円錐形)

裂溝や歯間部の検査に

ライトプローブB
(幅広型)

頬側・舌側部の検査に

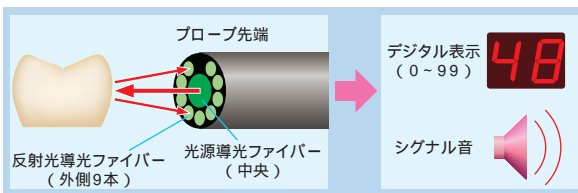
ダイアグノデントによる測定値と臨床対応の目安(成人患者の場合)*

- 0 ~ 14 : 特に処置の必要はない
- 15 ~ 20 : 予防処置を実施することが勧められる
- 21 ~ 30 : 患者のカリエスリスク、リコール間隔に応じて予防処置または保存修復処置を実施することが勧められる
- 31以上 : 保存修復治療(および予防処置)を実施することが勧められる

上記数字はあくまでも目安で、個々のカリエスリスクを考慮して診断します。
* Lussi A : 新しい咬合面蝕蝕検出法, 歯界展望, 95(6), 1285-1295, 2000

ダイアグノデントの動作原理

本体に設置されている半導体レーザーから発振される655nmの赤色レーザー光を柔軟なファイバーで歯質へ導き、その反射光を本体に戻してスペクトル分析し、歯面の状態を表示します。



医療用具承認番号 21400BZY00303000号

写真は印刷の都合上、実際の色とは異なって見えることがあります。

製品の仕様および外観は、改良のためお断りなく変更することがあります。

掲載の病院医院価格および参考データは、2002年10月現在のものです(価格には消費税は含まれておりません)。

輸入・発売元 株式会社 ジーシー

DIC(デンタルインフォメーションセンター)
東京都文京区本郷3-2-14 〒113-0033

フリーダイヤル ☎0120-416480

受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祭日を除く)

<http://www.gcdental.co.jp/>

支店

●東京(03)8813-5751 ●大阪(06)4790-7333

営業所

●北海道(011)729-2130 ●広島(082)255-1771

●東北(022)283-1751 ●九州(092)441-1286

●名古屋(052)03-3231

ご使用に際しては、必ず製品添付の使用説明書をお読みください。